

祝！！30回！！と自分で自分を褒めてみました(^_^;)

まだまだ未熟者ですのでなかなか本もうまくご紹介できないのですが、お付き合い頂きありがとうございます。少しでも読者の方々のお役に立つことができているならば嬉しく思います。

今月は子ども向けの絵本雑誌を紹介しましょう！

『かぜフーホッホ』 (『ちいさなかがくのとも』2007年11月号)

三宮 麻由子 ぶん 齊藤 俊行 え 福音館書店 362円 絵本雑誌

<お勧め年齢>

幼稚園★★★ 小低学年★★★ 小中学年★☆☆ 小高学年★ 中学生☆☆☆
高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

かぜの音にはいろいろな音があるよね。シーツがかぜにふかれると「ブオッファ ブオッファ ブオッファ」。プラタナスのはっぱは「トパ タパ テパ トバ タパ テパ」とゆれます。本のなかの女の子といっしょにおさんぽしながらいろいろなかぜの音に耳をすませてみてください。

<子どもに手渡すときのポイント>

子ども向け絵本雑誌というのがあるのをみなさんご存知ですか？毎月、各年齢に合わせたおはなしを出版し、契約すればご家庭にも届けてくれます。「ぐりとぐら」「ばばあちゃん」などの人気シリーズも絵本になる前にこういった絵本雑誌に掲載され、その後絵本化されたものなのです。そういったことを思えば、装丁は本よりもやはり簡易ではありますが、よみきかせにも充分使えます。また、各月ごとにあったテーマを取り上げてくれているので、よみきかせの絵本選びに自信がない方は一度その月の絵本雑誌から選んではいかがでしょうか？一番新しいものでなくてかまいません。(雑誌の最新号は図書館では貸出不可なので)前年以前のものから選べば、11月号だけで何十冊という中から選ぶことができます。また、今回ご紹介した本のようなかがく要素の強い絵本雑誌から選ぶと、普段自分ではあまり選ばないようなおはなしと出会えて新しい発見があります。ちなみにこの「ちいさなかがくのとも」の概要は、HPからの転記となりますが

『3才から5才の子どもたちの、虫や葉っぱや石ころの気持ちを感じとる力を大切にしながらかがく絵本です。1冊1テーマ。「ここにもすてきなものがあるよ」と、毎月さまざまなテーマに子どもたちといっしょに足をとめていきます。ことばの響きも大切にしたい絵本作りをしています。ものがたり絵本とおなじように、読み聞かせをおたのしみください。』となっています。この「ちいさなかがくのとも」のお姉さん雑誌に「かがくのとも」がありもう少し大きな子どもたちが対象です。また、前述の「ぐりとぐら」などは「こどものとも」という雑誌に掲載されており、他の雑誌も含め年齢別にまとめると

- 0歳～2歳 「こどものとも 0. 1. 2」
2歳～4歳 「こどものとも 年少版」
3歳～4・5歳 「ちいさなかがくのとも」
4歳～5歳 「こどものとも年中向き」
5歳～6歳 「こどものとも」「かがくのとも」

(福音館書店HPより)

となっています。お値段も大変低価格で、年間購読もでき、忙しい毎日でも絵本がご自宅に届けられます。なかなかよみきかせの本が選べない、図書館に行く時間がない、どの絵本がいいのかわからない、そんなお悩みを少しでも解消できるのではないのでしょうか？



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店にあります。ぜひ手に取ってみてください。

早良図書館 吉岡 さやか